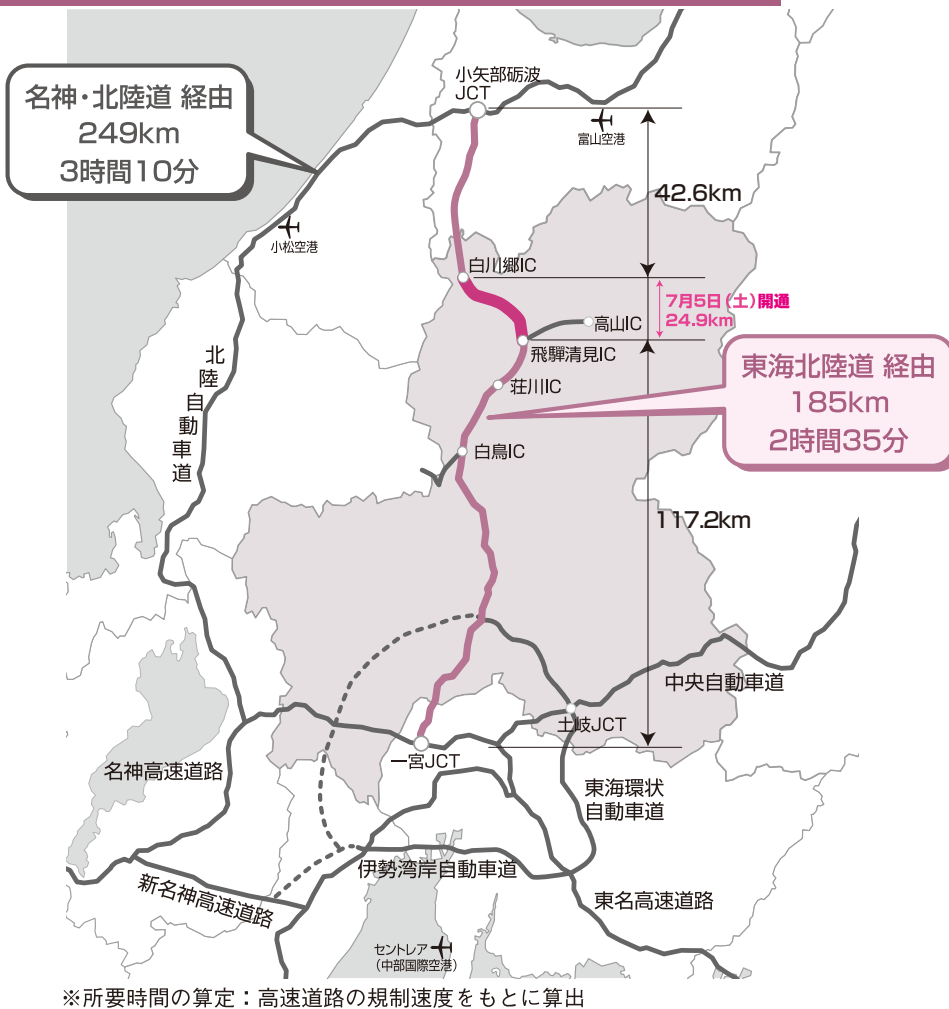
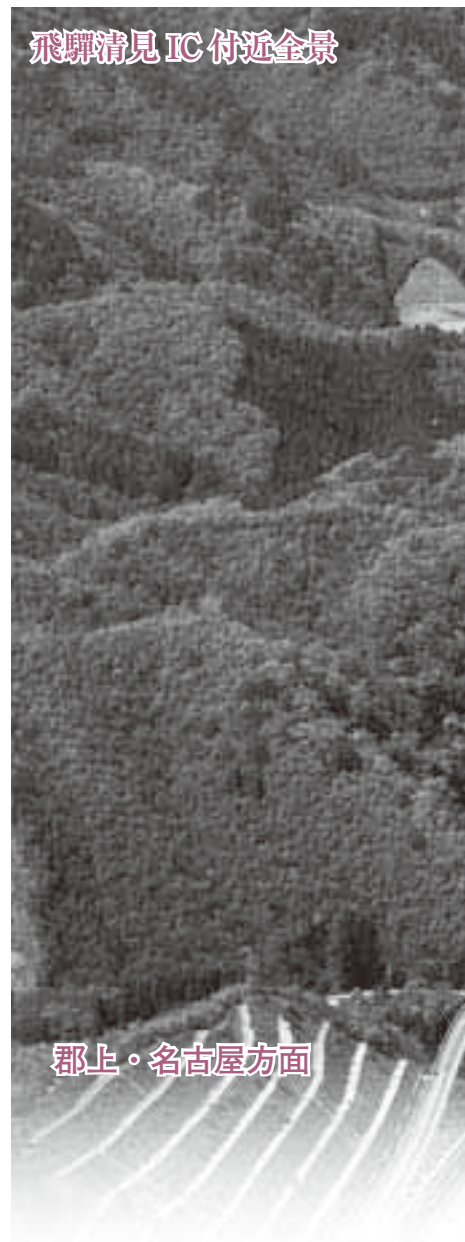


太平洋と日本海がこんなに近くなりました



飛驒清見 IC 付近全景



郡上・名古屋方面

市の取組み

- ・白川郷や金沢などと協力して、海外誘客などを積極的に行っています。
- ・企業誘致を推進するため、全国でも最高水準の企業立地支援制度を設け、立地から操業まで迅速かつ継続的に支援しています。
- ・各地域の資源を活用した滞在型の観光を進めています。
- ・高速道路の事故・災害に備えて、関係機関と連携し訓練を行っています。



全線開通を見据えて関西・北陸方面の観光キャンペーンをしました (多賀サービスエリア・滋賀県)

期待される効果

- ・交通アクセスの向上による観光客の増加。
- ・日本の中心に位置し、東海と北陸をつなぐ場所の利点と、「飛驒高山」ブランドの知名度を活かした企業誘致。
- ・北陸方面からの輸送時間短縮などによる物流の促進。
- ・救急医療施設への搬送時間の短縮。
- ・一般国道 156 号の代替路としての機能。

予想される課題

- ・高山に宿泊しない、日帰りや通過型の観光客の増加。
- ・開通による既存 IC への乗降客の減少。

想いつながら
未来へ羽ばたく

東海北陸自動車道ー全線が開通ー

着工から約三十六年

ついに太平洋と日本海が直結

中部縦貫道
高山IC方面

白川郷・金沢方面

7月5日、東海北陸自動車道が全線開通し、飛騨清見インターチェンジ（IC）付近で行われた式典では、関係者ら約800人が開通を祝いました。全線開通によって、飛騨地方に本格的な交通新時代が到来しました。

東海北陸自動車道は、一宮ジャンクション（JCT）と小矢部砺波JCT

を結ぶ総延長約185kmです。このうち、未開通区間であった飛騨清見ICと白川郷ICの約25kmが完成し、全線の開通となりました。

北陸がもっと近くに
列島の中央貫く大動脈

全線開通によって、東海地方と北陸地方が近くなりました。特に高山から金沢までの所要時間は、現在の140分から95分と、約45分の短縮となります。

全線開通は、高山市をはじめ、中部内陸地域の物流や交流の起爆剤となり、産業や観光の振興に期待が高まります。

日本第2位の「飛騨トンネル」
新しく開通した飛騨清見ICと白川郷IC区間にある「飛騨トンネル」は、道路用のトンネルとしては日本で2番目に長い10.7kmもあります。

求められるまちづくり
東海北陸自動車道の全線開通は、観光、物流、企業立地などさまざまな分野において地域社会経済に大きな影響を及ぼすことが想定されます。こうした交通環境の変化を交流人口の増加に結び付けていくため、自然や文化などの地域資源を、観光振興やまちづくりに戦略的に活用していくことが求められ、市民と行政が一体となった取組みが始まっています。

2008.7.15